

# とよた市議会 だより

3月市議会  
定例会号  
平成27年4月15日

ファイルNo.  
126

豊田市教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例(議案第1号)  
**市長と教育委員会の連携を強化します**

平成27年度一般会計予算(議案第46号)

**前年比102億円増。過去最高額1,787億円の使途は**



人と動物の共生

ピックアップ  
**TOPICS**  
トピックス

## 動物愛護センターがオープン

4月1日、豊田市鞍ヶ池公園内に動物愛護センターがオープンしました。センターでは、動物の飼い方の講座や展示を行い、人も動物も快適に暮らせる社会を目指します。また人と動物の共生社会の推進を図ることを目的に、「豊田市人と動物の共生社会の推進に関する条例」を制定しました。

### ●トップインフォメーション

豊田市議会4年間のキセキ ..... ②

●議案説明・討論 条例の制定・当初予算など .... ④

●常任委員会 付託案件を審査 ..... ⑥

●議案審議結果 ..... ⑧

### ■ 市政について問う!

●代表質問 各会派が市長・教育長に問う ..... ⑩

●一般質問 21人の議員が質問 ..... ⑫

●トピックス 市民シンポジウムの報告ほか ..... ⑯



# 豊田市議会 4年間のキセキ☆

平成23年4月からの4年間(1期)の豊田市議会の活動を振り返ります。

市民の代表46人が決定  
11人の新議員が誕生。  
平成27年4月29日までの4年  
間の任期がスタートしました。  
(平均年齢56.6歳)

平成23年4月24日(日)  
市議会議員選挙・開票

選挙あれこれ

- 投票場所 129か所
- 投票結果 当日有権者数320,900人、  
投票者数213,145人、投票率66.42%
- 年代別議員数 30代1人、  
40代6人、50代21人、60代18人

平成23年4月26日(火)  
当選証書付与式

市民に開かれた議会をめざして

平成21年に制定した豊田市議会基本条例に基づき、市民の皆さんへの説明責任を果たすとともに、議会活動に参画する機会の確保を目的に報告会を開始。平成23年からの4年間に、市内12箇所で開催し、のべ915人の方にご参加いただきました。定例会や特別委員会の報告、市民の皆さんとの意見交換等を行いました。

## 平成23年

平成23年10月22日(土)  
地域市議会報告会開催



集合写真

平成23年11月3日(木)  
市民シンポジウム開催

地域市議会報告会とともに、年に1回、これからのまちづくりを市民の皆さんと共に考えていくため市民シンポジウムを開催しました。毎回、テーマを設け、講師やパネリストを迎え市民の皆さんと共に意見交換を行いました。



第1回 地域市議会報告会の様子

平成24年3月26日(月)  
決議の提出

## 平成24年

決議書の提出と3.11

東日本大震災から1年が経過。被災地の最大の復興の障害になっているがれきの処理について、震災の傷跡となったがれきがいつまでも被災地に残っている、真の復興はありえないことから、がれきの受入れを表明する決議書を豊田市議会として議決しました。

平成24年4月1日(日)  
豊田市議会  
ホームページリニューアル

リニューアルの目玉

- ①「議会活性化への取組」を追加
- ②子ども用「僕と私のページ」を開設
- ③議員名簿の充実
- ④意見書・決議を掲載
- ⑤閲覧補助機能の強化

平成23年度以降、2種類の決議、6種類の意見書を議決し、国等の関係機関へ提出しました。



ホームページのトップページ



### 身近に感じるきっかけに

平成23年からの4年間で、のべ10校、約1,500人の児童・生徒の皆さんに、豊田市議会の傍聴にお越しいただきました。これからも多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。



傍聴の様子

### 小・中学生の議会傍聴

平成25年10月30日(水)  
議場コンサート

### はるか英国を感じるひととき

本市の姉妹都市であるイギリスダービーシャーの青少年吹奏楽団の皆さんが、姉妹都市提携15周年を記念して、議場でコンサートを行いました。議場内に見事な音色が響き渡りました。



議場コンサートの演奏の様子

## 平成25年

### 市民の安全・安心のために

毎年、9月定例会初日終了後、全議員、市特別職、幹部職員の参加により、市役所南庁舎北側の国道153号沿いにおいて、交通安全啓発活動を実施しています。また、年末には多発する市内の犯罪情勢を市民の皆さんへ周知するため、豊田市駅前周辺などで啓発活動を行いました。

### 交通安全啓発活動 年末防犯キャンペーン



交通安全立しよう活動の様子

## 平成26年

### 各種議員研修会

### よりよい市政の実現に向けて

議員活動を行うに当たり、多くの研修会に参加します。議員研修会、西三河四市議員合同研修会など、各種研修の受講により、多くの知識や情報を吸収し、今後の市政へ役立てます。

平成26年3月  
市議会初!  
政策条例の制定

### 再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例の制定

豊田市議会初の政策条例を制定しました。平成25年5月に特別委員会を設置し、条例制定に向け、パブリックコメントや先進地視察等の調査研究を重ね、条例制定を行いました。

平成26年3月  
議員定数45名  
市議会議員定数条例の  
一部改正を可決

### 親しみやすい「市議会だより」をめざして

平成25年に締結した市内5大学との大学連携を活用し、議会だよりの紙面に学生さんが登場。市民の皆さんにより身近な議会を目指します。

また、とよた市議会だよりは、平成26年、中核市議会議長会議会報コンクールにおいて、審査員特別賞を受賞。白黒の紙面の中で唯一の受賞となりました。

平成26年6月  
議会だよりが  
市内大学と連携

### 46人→45人へ

平成27年の選挙に向けて、本市の議員定数について特別委員会を設置し調査・研究を行いました。市内17団体との意見交換会、シンポジウムにおけるアンケートなど、現状の市議会に対するご意見や議員定数などについて多くの貴重なご意見を伺いました。その結果、3月定例会において次回からの議員定数を1名減の45名に決定しました。

平成27年4月26日  
統一地方選挙



大学生による議長インタビューの様子



# 条例の制定・一部改正・平成27年度一般会計予算など76議案を議決

## 新制度の施行に伴い、市独自の支援で保育料を後押し

【議案第2号、18号】豊田市子ども・子育て支援法施行条例ほか

**内容** 子ども・子育て関連三法にもとづく新制度の施行に伴い条例を制定し、保育料を定めます。保護者の保育料負担は、市独自の支援により公立と私立の格差を抑え、保育料は平成20年から据え置きです。

## ものづくりは人づくり。更なる「ものづくり体制」の強化に向けて

【議案第12号】豊田市基金条例の一部を改正する条例

**内容** 故豊田英二氏のご遺族からの寄附金を基金として積み立て、その一部を平成26年度補正予算で(仮称)ものづくり創造拠点の整備費用として活用します。中小企業イノベーションの創出、ものづくり拠点の整備、人材育成事業を展開していきます。

## 当初予算額は1,787億円、前年度比102億円増。当初予算額としては過去最高額

【議案第46号】平成27年度豊田市一般会計予算

**内容** 本市の基幹産業である自動車産業を中心に、業績は好調を示していますが、市歳入の根幹をなす法人市民税の一部国税化などの税収減に対応し、国庫補助金等を活用することにより、前年度同程度の一般財源を確保しています。

歳出では、国・県の補助事業を効果的に活用し、市民の安全・安心な暮らしのため、小学校・こども園の整備や、区画整理の推進、駅前通り北地区市街地再開発など、普通建設事業にも積極的に投資しています。

一方、健全財政を維持するため、市債残高の減少、基金残高の維持など、将来に備えた予算としています。

※平成27年度当初予算の概要については、広報とよた4月1日号引込の「予算のあらまし」をご覧ください。

## 新たなスマートタウン誕生

【議案第66号】財産の処分(スマートタウン用地)

**内容** 柿本町にある市有地をスマートタウン用地として売却し、スマートハウス21戸と集合住宅2棟で構成されたスマートタウンを整備します。街区全体のエネルギー利用状況を見える化し、省エネ行動の促進を図るとともに、災害時にも発電した電力を使用できるシステムを設置します。



スマートタウンのイメージ図

## 討 論

本会議最終日3月18日に各委員会審査の委員長報告等を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

**大村 義則** **限度を超えた国保税の値上げに反対**  
諸 派

議案第24号は、国保税が1人平均1,900円の値上げとなり、市民生活の限度を超えている。自治体独自の努力で市民負担を少しでも軽くする事例が全国で広がる中、値上げを繰り返す本議案に、強く反対。

議案第51号は、歳入の大半をただ基金に積み増す予算組みに対し、水源保全事業の拡大等の改善提案を続けてきた。今回、提言の検討を行い、森林整備事業として実施する方針へ転換したことを評価し、賛成。

**鈴木 章** **健全財政を視野に 入れた財源確保に賛成**  
自民クラブ

議案第16号は、いじめ防止や早期発見、対処等適切な対応に取り組むと共に、学校、家庭、地域、関係機関等の更なる連携を図り、積極的ないじめ対策への取組が推進されることを評価し、賛成。

議案第46号の歳入は、平成26年度と同程度の一般財源を維持し、また平成27年度末で資金積立基金残高の560億円確保、市債残高の742億円への減少を見込むことから、健全財政に配慮した必要財源の確保であると評価し、賛成。

**岡田 耕一** **リゾート安曇野のサービス 拡大を評価し賛成**  
諸 派

議案第8号は、本市における景気実感の考慮及び報酬審議会の判断は不可欠である。賃上げ率の上昇は大企業限定の話で、議員報酬の引上げは中小零細企業まで賃上げされた後、最後にすべきであり、反対。

議案第46号の市民山の家賃は、リゾート安曇野の指定管理料が平成26年度以降、25年度比で約2,100万円減額された。また27年度は、インターネット予約やクレジットカード決済などのサービス導入を高く評価し、若い世代の利用促進に繋がることを期待し、賛成。



## 予算決算 委員会

2月27日から3月17日にかけて委員会及び分科会が開催され、付託された平成26年度補正予算13議案、平成27年度当初予算13議案を審査し、すべての議案を承認しました。

### ●一般会計補正予算 〔商業活性化対策費〕

**質問** プレミアム付商品券の発行までのスケジュールはどのようなか。

**答弁** 3月中旬に商工会議所を中心とした商品券発行の主体となる実行委員会が立ち上がる予定である。実行委員会で商品券の販売方法や使用可能な店舗、広報宣伝方法を協議し、発行準備を整え、平成27年の夏ごろに発売される予定である。

### ●一般会計予算 〔戸籍住民基本台帳費〕

**質問** 個人番号カードの交付を円滑に行うための取組と、コンビニエンスストアでの証明書の発行はどのように行うのか。また、カード紛失時の対応はどのようなか。

**答弁** 個人番号カードの発行枚数は、総務省の見込みから総人口の8%としており、本市の交付枚

数を試算すると、約3万4千枚となる。平成28年1月から3月までの間で、カード交付を円滑に行うために、市民課の通常窓口とは別に、臨時窓口を開設し対応する予定であり、特別任用職員等を活用し、体制を整備する。

個人番号カードにより、コンビニエンスストア4グループにおける証明書の発行が可能となる。利用時間は、午前6時30分から午後11時まで、平成28年度からの導入を予定している。また、個人番号カードの紛失対応は、地方公共団体情報システム機構のコールセンターに連絡することでサービス停止となる。



マイナンバー

### ●一般会計予算 〔ものづくりプロジェクト推進費〕

**質問** グルマづくり究めるプロジェクト負担金について、前年度と比べ約1,000万円の増額となっているがその理由はなにか。また、平

成26年度の応募状況と平成27年度の見込みはどのようなか。

**答弁** 増額の理由は、主に定員の増加に対応するための費用と、活動充実のためによるものである。平成26年度は、当初の募集人員70人程度に対し、180人の応募があった。このため、設備のやりくりや指導員の関係者等の協力を得て、再度調整した結果、定員を拡大させることができ、109名で活動している。平成27年度についても同程度の応募が見込まれることから、作業スペースの拡張に合わせ、設備の増設を行うものである。また、当プロジェクトは、子どもたちの成長段階に応じて、入門、研究、挑戦の3コースがあり、内容を充実させるために機器類を整備していく。



グルマづくり究めるプロジェクト

### 桜井秀樹 子どもたちの笑顔が 市民フォーラム 輝くまち豊田を期待し賛成

議案第12号は、(仮称)ものづくり創造拠点、ものづくりミライ道場が新設され、既存のとよたイノベーションセンターと、ものづくりサポートセンターを一体的に運営することで、中小企業をはじめ、ものづくりの発展及び人材育成に繋がることに期待し、賛成。

議案第73号は、政策要望である「待機児童ゼロ」としたことに加え、民間活力を活かした放課後児童クラブの委託に対し、魅力ある運営と質の向上に期待し、賛成。

### 田代 研 動物愛護精神の 公明党 醸成に賛成

議案第3号は、長年提言してきた動物愛護条例の制定である。この条例策定により動物愛護精神が育まれ、命を大切にすることが期待でき、賛成。

議案第46号の感染症予防費は、予防接種費のロタや高齢者用肺炎球菌のワクチン助成は、これまでも提言しており、市民の健康づくり・予防医療の推進に期待する。県内初のB型肝炎予防接種助成も評価し、賛成。

### 青山さとし 飲酒運転の根絶、 諸 派 市民意識向上に賛成

議案第15号は、県内における飲酒運転の違反や事故当事者の本市の検挙件数が平成26年度ワースト1であるが、条例改正により、高齢者・自転車等の事故防止に加え、安全意識の改善につながることを期待し、賛成。

議案第46号の給与費は、市長・特別職等の給与の地域手当について、法的には問題ないが今後厳しくなる市の財政を考え、他市では廃止する自治体も増えていることから、次の報酬審議会で議論されることを期待し、賛成。



2月26日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、予算決算委員会を含む6つの常任委員会でを行いました。委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

## 産業建設

委員会

3月9日、付託された11議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第5号】 豊田市沿道区域の指定に関する基準を定める条例

**質問** 沿道区域の指定のタイミング及び指定後は土地等の管理者にどのような義務が発生するか。

**答弁** 指定のタイミングは道路に接続する土地において、道路の構造に損害や交通に危険を及ぼす恐れがある場合で、道路法に基づく措置命令を発する必要があるときに指定を行う。また、指定後の土地等の管理者への影響としては、砂利の採取等により道路が崩れる恐れのある場合は、道路を保護するための石積み等の施設を設けること等、一定の作為義務が課せられる。

【第59号】 財産の出資(愛知高速交通株式会社に対して有する貸付金に係る債権)

**質問** 財産の出資をするにあたり、今後のリニモ利用者の見通し及び、経営についての考えはどのようなか。

**答弁** 愛・地球博記念公園で実施予定の大型イベントや駅周辺での大型店舗の相次ぐ開店等により利用者の持続的な増加を見込んでいる。また、今後の経営について、経営目標の達成度や具体的な増収策、経費削減の取組等、有識者などによる検証を毎年実施することで支援を行った自治体等がその進捗状況を把握検証できる仕組みを構築する。さらに、平成27年度前半をめどに新たな経営体制に移行させていく予定である。

## 環境福祉

委員会

3月10日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第22号】 豊田市食品衛生条例の一部を改正する条例

**質問** 食品衛生法で許可申請が義務付けられていない食品製造業を、条例での届出とした理由と、その効果は何か。

**答弁** 製造施設を確実に把握指導し、食中毒の発生を防止するため、条例において届出を義務化した。効果は、届出により製造施設を把握し、事前に衛生指導及び助言を行うことができ、必要に応じて積極的な情報提供が可能となる。また施設への立ち入り監視を行い、よりの確な指導を行うことができる。



食品点検の様子

【第25号】 豊田市介護保険条例の一部を改正する条例

**質問** 介護予防日常生活支援総合事業の体制整備は、どのように展開していくのか。

**答弁** 協議体と生活支援コーディネーターを市内5ブロックに設置する予定。協議体では、地域の高齢者について課題の洗い出しなどを行う。生活支援コーディネーターは、協議体と連携し地域住民や民間事業者等と、地域課題などに対応する新たな担い手を発掘し育成していく。市は、新サービスの基準や報酬単価等を設定するなど新たな担い手の活動支援の体制を整備していく。三者が相互に協力し合い、地域で高齢者を支える新たな体制を構築していく。

## 教育次世代

委員会

3月11日及び18日、付託された10議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第16号】 豊田市子ども条例の一部を改正する条例

**質問** 子どもにやさしいまちづくり推進会議との連携をどのように考えるか。

**答弁** 条例改正により、子どもにやさしいまちづくり推進会議が新たに担う役割は、いじめを発生させず、適切に対処するために、関係機関・団体が連携して、よりよい対策ができるようにすることである。いじめ対策等について、広く関係機関との情報共有ができることで、取組に充実が図れることや、いじめが起きたときにも、速やかに連携して対応することができると考えている。

【第73号】 豊田市子ども総合計画の策定

**質問** 計画の特徴と他に誇れる点はどのようなか

**答弁** 特徴は、現在の子育て支援の利用状況及び潜在的な利用希望を把握し、平成27年度からの5年間における、地域・子ども子育て支援事業の利用者数の見込みを定め、提供体制の確保の内容、実施時期等を盛り込んでいる。他に誇れる点は、おめでとう訪問や、3歳～5歳児の基本保育料の低設定、中学校卒業時までの医療費無料など、高水準にある子ども・子育て支援の各種施策を継続していくことや、新規事業に若者サポートステーションの創設、若者支援地域協議会の設置などを計画に組み込んでいる。



## 委員会

### 生活社会 委員会

3月12日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第15号】豊田市交通安全条例の一部を改正する条例

**質問** 高齢者の交通事故防止のために必要な施策とは、どのようなものか。また、第10次豊田市交通安全計画にどのように反映させるのか。

**答弁** 主に交通安全教育や啓発などのソフト対策であり、高齢者世帯を訪問して啓発を行う、高齢者交通安全防犯世帯訪問事業は、平成27年度から一部地域の対象世帯の年齢を75歳以上から70歳以上に引き下げて実施する。また、実車体験型の高齢者運転技術講習会を行い、受講者が自分の運転技術を顧みて、安全運転意識を高めることで事故の未然防止を図る。さらに、豊田市交通安全学習センターでは、身体能力の確認、巻き込みや制動距離などの実験学習を含めた施設内での団体講習と出張講習を実施する。第10次豊田市交通安全計画は、関係機関等と協議した上で、今回の改正内容を反映させたい。



高齢者世帯訪問の様子

### 企画総務 委員会

3月13日、付託された14議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第12号】豊田市基金条例の一部を改正する条例

**質問** ものづくり拠点が一体化された場合、新設される「ものづくり未来創造基金」と既存の「青少年ものづくり基金」をどのようにすみ分けていくのか。

**答弁** 青少年ものづくり基金は、ものづくりの対象物を絞り込んで子どもたちが学ぶ事業の財源として活用しているが、ものづくり未来創造基金を活用した新しい拠点施設におけるものづくりサポートセンターでは、地元企業や大学、高専の方々の応援を受けながら、中・高生が幅広く学び、実験などの試行錯誤を通じた実践型の教育活動として進めていきたい。

【第66号】財産の処分(スマートタウン用地(柿本町地内))

**質問** 就学者の増加や通学路の整備など、開発による影響はあるのか。また、住宅が増加することになるが、自治区の運営に問題は無いのか。

**答弁** 現時点で、就学者の増加による教室不足等は生じないことを確認している。通学路も当該土地の近辺まで設定されており、今後、必要に応じて延伸等が行われる。事前に自治区への説明や文書回覧を行い、地域の理解を得たうえで手続きを進めており、住民の増加による地域活性化効果も期待できるため、自治区運営に大きな問題は生じないと考えている。

### 議員提出意見書第1号

#### ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等についての意見書

我が国には、B型又はC型肝炎ウイルス感染者が、合わせて350万人以上いると推計されており、肝炎対策基本法で国の責任と肝炎患者を救済する責務が明確となっている。

現在、肝炎治療特別促進事業により医療費助成が行われているが、対象となる治療法が限定されており、症状がより重篤化した肝硬変・肝がんの治療が助成対象となっていないことから、患者は高額な医療費を負担せざるを得ない状況となっている。

また、肝臓の機能障がいや身体障がい者福祉法上の身体障がいとされているが、認定基準が患者の実態に応じたものとなっていないため、肝炎患者に対する生活支援の実効性が発揮されていないとの指摘もある。

よって、国におかれては、ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等を図るため、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- 記
- 1 ウイルス性肝炎が原因である肝硬変・肝がん患者の治療に対する医療費助成制度を早期に創設すること。
  - 2 身体障がい者福祉法上の肝臓の機能障がいに係る認定基準を緩和し、肝硬変・肝がん等の患者の実態に応じた障がい者認定制度にすること。

### 議員提出意見書第2号

#### 年金積立金の適正運用の確保についての意見書

公的年金は高齢者世帯の収入の約7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活している。また、特に高齢化率の高い都道府県では県民所得の17%前後、家計の最終消費支出の20%前後を占めているなど、年金は老後の生活保障の柱となっている。

こうした中、政府は、公的資金等の運用について、デフレからの脱却を図り、適度なインフレ環境へと移行しつつある我が国の経済状況を踏まえ、運用対象の見直しやリスク管理体制等のガバナンスの見直しを進めることとしている。

また、公的年金の積立金の運用を行っている年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は、昨年10月に中期計画を変更し、運用資産に占める国内債券の割合を引き下げ、株式の割合を引き上げるなどの運用方法の見直しを行うとともに、内部統制やリスク管理体制の強化等を行うこととしている。

もとより、年金積立金の運用は、年金財政・年金制度と密接に関わるものであり、現役世代の保険料負担を維持しつつ、将来の年金給付に支障が生じないよう、長期的な健全性を確保していかなければならない。

よって、国におかれては、年金積立金の適正運用の確保を図るため、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- 記
- 1 年金積立金の運用は、厚生年金保険法等の規定に基づき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すること。
  - 2 被保険者の利益を第一に考えた運用が確実に行えるようGPIFのガバナンス体制の強化を図ること。



## 議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています

### 3月市議会定例会に提出された案件

◆議案	採決結果	会派別賛否								
		自民クラブ 27名		市民フォーラム 9名		公明党 4名		諸派 4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
第1号	教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例	原案可決	27	0	9	0	4	0	4	0
2	子ども・子育て支援法施行条例	//	27	0	9	0	4	0	2	2
3	人と動物の共生社会の推進に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
4	上場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	2	2
5	沿道区域の指定に関する基準を定める条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
6	情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
7	市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
8	市議会の議員の議員報酬、費月弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	1	3
9	市非常勤職員の報酬及び費月弁償に関する条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	2	2
10	市職員給与条例等の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
11	市職員退職手当条例等の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
12	基金条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
13	手数料条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
14	教育委員会委員定数条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
15	交通安全条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
16	子ども条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
17	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
18	市立保育所条例の一部改正条例及び保育の実施基準条例の一部改正条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	2	2
19	地域広場条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
20	老人福祉センター条例等の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
21	犬による危害防止条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
22	食品衛生条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
23	国民健康保険条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
24	国民健康保険税条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	2	2
25	介護保険条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	2	2
26	商業振興条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
27	地丈計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
28	国民保護協議会条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
29	防災基本条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
30	防災会議条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
31	地域情報基盤整備工事負担金条例を廃止する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
32	平畑集会所条例を廃止する条例	//	27	0	9	0	4	0	4	0
33	平成26年度一般会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
34	// 国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
35	// 食肉センター特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
36	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
37	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
38	// 卸売市場特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
39	// 水道水源保全事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
40	// 介護保険事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	2
41	// 財産区特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0
42	// 管易水道事業特別会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	4	0





## 3月市議会定例会に提出された案件

採決結果	会派別賛否 ※市民クラブは環境を除く								
	市民クラブ 27名		市民フォーラム 9名		公明党 4名		諸派 4名		
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
<b>◆議案</b>									
第43号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算								
44	//	27	0	9	0	4	0	2	2
45	//	27	0	9	0	4	0	4	0
46	平成27年度一般会計予算								
47	//	27	0	9	0	4	0	2	2
48	//	27	0	9	0	4	0	4	0
49	//	27	0	9	0	4	0	4	0
50	//	27	0	9	0	4	0	4	0
51	//	27	0	9	0	4	0	4	0
52	//	27	0	9	0	4	0	4	0
53	//	27	0	9	0	4	0	2	2
54	//	27	0	9	0	4	0	4	0
55	//	27	0	9	0	4	0	4	0
56	//	27	0	9	0	4	0	2	2
57	//	27	0	9	0	4	0	4	0
58	//	27	0	9	0	4	0	4	0
59	//	27	0	9	0	4	0	2	2
60	//	27	0	9	0	4	0	4	0
61	//	27	0	9	0	4	0	4	0
62	//	27	0	9	0	4	0	4	0
63	//	27	0	9	0	4	0	4	0
64	//	27	0	9	0	4	0	2	2
65	//	27	0	9	0	4	0	4	0
66	//	27	0	9	0	4	0	2	2
67	//	27	0	9	0	4	0	4	0
68	//	27	0	9	0	4	0	4	0
69	//	27	0	9	0	4	0	4	0
70	//	27	0	9	0	4	0	4	0
71	//	27	0	9	0	4	0	4	0
72	//	27	0	9	0	4	0	4	0
73	//	27	0	9	0	4	0	2	2
74	//	27	0	9	0	4	0	4	0
75	//	27	0	9	0	4	0	4	0
<b>◆同意</b>									
第1号	監査委員の選任（畔柳 寿文氏（新任））								
2	教育委員会教育長の選任（杉山 兼光氏（再任））								
<b>◆報告</b>									
第1号	専決処分報告（工事請負契約の変更3件、損害賠償額の決定3件）								
<b>◆議員提出議案</b>									
第1号	委員会条例の一部改正条例								
<b>◆議員提出意見書</b>									
第1号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等についての意見書								
2	4ヵ年積立金の適正運用の確保についての意見書								



# 自民クラブ・市民フォーラム・公明党の各会派が太田市長、福島教育長に問う

## 自民クラブ

近藤 光良



### 質問 新教育委員会制度

施政方針において市長が教育分野についても一体的に取り組んでいく旨の内容が述べられたが、新年度から市長は教育行政にどのような関わりを持つのか尋ねる。

### 答弁 市長

制度改正では、市長が、教育委員会との協議・調整の場である総合教育会議を主宰したり、教育施策の大綱を策定したりするなど新たな仕組みが導入され、市長の教育行政に対する責任・役割が明確になると考える。施行後は、教育の継続性・安定性を十分確保しつつ、学校教育、家庭教育、社会教育いずれにおいても地域コミュニティや市民活動等との連携が不可欠であるため、市長と教育委員会との連携を強化する中で、これまで以上に市としての一体的な施策の展開と総合的な調整の役割を果たしていく。



市民活動との連携(ワークショップ)

### 質問 “ものづくり中枢都市”の推進

とよたイノベーションセンターの拡充及び(仮称)ものづくり創造拠点の整備が、施政方針での「ミライ・チャレンジ都市」を実現する一歩となると考えるが、市長の考えは。

### 答弁 市長

とよたイノベーションセンターの認知度向上、利用者増加のため、組織体制強化と機能拡充が必要と考える。産業支援機関、大学、金融機関等との連携強化と共に、次年度はコーディネーターを増員し、技術・経営相談体制を強化する。また故豊田英二氏ご遺

族からのご寄附を活用した(仮称)ものづくり創造拠点の整備に合わせ、とよたイノベーションセンターを移設予定であり、更なる組織体制強化と機能拡充を図っていく。(仮称)ものづくり創造拠点では、技能伝承はもとより若手技術者による試作開発の支援にも取り組み、中小企業の新事業創出や起業家育成等につなげていきたい。



とよたイノベーションセンター

### 質問 スポーツによる交流の推進

豊田スタジアムで開催するラグビーワールドカップ2019について、ラグビーを市民の身近なスポーツにする活動が必要と考えるが、どう取り組んでいくのか。

### 答弁 教育長

3月の開催決定を受け、速やかに開催準備組織を設立し、県下全域でのPR活動とラグビー普及活動を本格的に進めていく。開催に向けた盛り上げ手段としては、市内の多くの小学校で行われ、豊田青年会議所主催の大会も実施されているタグラグビーの普及を加速する。また県内にはラグビートップリーグに所属する2チームがあり、観戦の積極的なPRや選手とのふれあいの機会設定等を推進する。さらにラグビーワールドカップ2015イングランド大会を、多くの市民に楽しんでもらう取組も行う。この活動を通じて国内はもとより海外にも本市のファンを増やす絶好の機会として、まさに全市民を挙げて取り組んでいく。



## 市民フォーラム

吉野 博子



### 質問 市政経営に関する太田市長の自己評価

市長就任から3年、公約として掲げていた重点施策の達成度、新たに実感した課題、平成27年度の施政方針の位置づけについて問う。

### 答弁 市長

公約については、暮らし満足都市の創造、環境先進都市の加速、ものづくり中枢都市の進化、安全・安心都市の実現の4つを重点施策に、市民力、地域力、企業力、そして行政力、議会力で推進し、着実な成果と進展を見せている。課題として、市職員が、市の強みを生かし積極的に見せる化を行う重要性を強く認識している。「WE LOVE とよた」の郷土愛を大切に、継続的に行動に移していきたい。施政方針は、就任3年間の成果と合併後10年の取組を総括し、「WE LOVE とよた」や都市の国際化、市民や企業、大学等の挑戦を支援する「ミライ・チャレンジ都市」の考え方を新たに打ち出している。

### 質問 財政面における市政経営

平成27年度当初予算編成において、太田市長のこだわった点を問う。

### 答弁 市長

平成27年度は、持続可能な都市を目指し編成した。平成26年度は、やや景気を取り戻し歳入も上向いたものの、将来に向けては非常に不安定な財政構造であるため「リ・スタート」というキーワードを示した。平成27年度からは「リ・スタート」の姿勢を基本としつつ持続可能な都市の実現に向けた市政経営に取り組んでいくため、将来の財政運営の転換を見据えた財政規律の堅持と、国県支出金等の特定財源の活用により、本市の強みを伸ばすために必要な事業の実施に対する予算配分を両立させ、全体として積極的な予算編成を行った。



3月市議会定例会において、新年度に向けた「施政方針」、「教育行政方針」に対し、それぞれの会派の代表者が2月23日に代表質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約してご紹介します。

## 代表質問

### 質問 活気に結びつく 施策であるために

「WE LOVE とよた」は、平成21年の市議会で提言された取組の更なる進化形であると考えているが、今回の意味するところは。

### 答弁 市長

平成26年度は合併10年を振り返る様々な取組を進めてきた。中でも、「とよた まちさと ミライ塾」においては、豊田市の持つ多様な魅力を再認識できたという意見を多く頂き、その魅力を次世代に引き継ぐ必要性を改めて感じた。市議会からのご提言で始まった「WE LOVE とよた」の活動を発展させ、豊田市で生まれるもの、生み出されるものを育む機運の醸成を図っていきたい。具体的には、プレミアム付商品券の発行、徳川家康公400年祭の取組、ラグビーワールドカップ2019の取組や地区対抗駅伝競走大会の開催を豊田商工会議所等多くの関係団体と連携して進めていく。



### 質問 豊田市の教育行政として 求められるもの

本市の教育において意識すべき内容として、教育長の思いは。

### 答弁 教育長

一人ひとりの人間が、自分を愛し、自分に誇りや自信を持ち、自分を大切に生きてほしいと強く思っている。自分と同様に他人も大切に、また自分も他人から大切にされなくてはならない。それが当たり前でできる人を育てることが今の教育に求められる原点であり、知・徳・体のバランスのとれた教育の視点は大切にしたいと考えている。更に自然を愛し、郷土に誇りを持ち、様々な感動体験を得ることも、自分を愛し大切にできる豊かなベースとなる。学校教育は児童・生徒一人ひとりの違いを十分に踏まえた細やかな対応が重要であり、私自身、子どもと向き合う上で常に意識している。

## 公明党

小島 政直



### 質問 将来を見据え重点的、 戦略的に取組む施策の推進

ラグビーワールドカップ、東京オリンピック開催を契機としたインバウンド観光の拡大について、本市独自の戦略を伺う。

### 答弁 市長

主に2つの取組を展開する。一つ目は、本市の在住外国人やビジネス目的で米訪する外国人を対象に、暮らしや文化に根差した本市ならではの体験プログラムを提供し、その魅力を国内外へ発信してもらい将来の誘客につなげる。二つ目は、自動車工場見学等を取り入れた外国人ツアーに取り組み旅行会社と連携する。なお、東京オリンピック等出場選手の事前合宿地は、インバウンド拡大戦略の一環として検討を進める。

### 質問 市民生活を支える まちづくりの推進

地域包括ケアシステムの構築に向けては、健康な地域住民が介護等専門職の人手不足をカバーし合うことが求められると考えているが、市の人材確保についての考えを伺う。

### 答弁 市長

増加する高齢者を支えるため、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の重点取組事業として、高齢者を地域で支える新たな取組を展開していく。具体的には、NPOや民間企業、ボランティア、元気な高齢者等が、介護事業所が提供するサービスの一部を担い、市はその活動に金銭面等の支援を行う仕組みを構築する。この事業を展開するため、高齢者を取り巻く課題やそれを解決するためのサービス・新たな担い手等、地域で支えるための方策について考えてもらう機会を設ける。

### 質問 学校教育分野～ 「生き抜く力」

いじめ対策について、これまでどのような検証がなされてきたのか。また今後どのような対策を講じていくのか。

### 答弁 教育長

本市では、学校いじめ対策委員会を核とした各学校の取組、青少年相談センターを中心とした学校への指導や支援、子どもの権利相談室での救済活動等、様々な窓口で対策を行ってきたが、情報共有や連携の不十分さ、外部の関与の少なさが課題であった。今回、豊田市子ども条例にいじめ防止基本方針を位置づけ、いじめ防止や重大事案への早急な対応ができる体制へと充実させる。また学識経験者や心理・福祉関係者等の専門家も含めた、いじめ防止対策委員会も設置する。子どもにやさしいまちづくり推進会議において外部機関の委員も加え、いじめ防止や対策等について論議し対応を充実させていく。

### 質問 生涯学習・次世代育成分野

全国で親の未熟さが問題になる中、親になる学習「親学」は家庭教育支援の一つと考える。本市では、どのように展開していくのか。

### 答弁 教育長

平成27年度は、小中学生保護者向けの親ノートの配布、親育ち交流カフェの開催を開始すると共に、子どもの発達段階に応じた取組を進める。乳児期の保護者には、赤ちゃんから幼児へ変化していく時の子育てを学べるふれあい子育て教室を新規に開始し、幼児期には、親がこども園で保育者として参加し、幼児期の子どもの特性や発達への理解を深める通称「パパ・ママ先生事業」を積極的に展開する。親になる以前の対応として、中学生と赤ちゃんのふれあい体験事業を推進しており、命の大切さや親になるための意識を高めている。社会全体で子育て、親育ちを支える取組を一層充実していく。



親ノート



2月24日から26日にかけて、21人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する5月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

岩月 幸雄

自民クラブ



●健康づくり豊田21計画(第二次)

質問 COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策

COPDを防ぐには喫煙者への禁煙の勧め、禁煙に取り組む市民への支援も必要と考える。COPD対策の取組について、考えを伺う。

答 弁 健康部

気管支の炎症で肺への空気の流れが悪くなり、呼吸がうまくできなくなるCOPDの予防には、たばこを吸わない・吸わせないことが最も効果的であり、個人への啓発と環境整備の両面の対策が重要である。個人の啓発は、小中学生の健康教育に力を入れている他、喫煙者には特定健康診査の結果に禁煙を勧めるパンフレットを同封している。環境整備は、受動喫煙防止対策として禁煙施設の認定を行っており、これまで市内1,055箇所を認定した。今後も各課や関係機関と連携して取組を推進する。

牛田 朝見

自民クラブ



●豊田市役所の組織力強化に向けた取組  
○社会保障・税番号制度の導入・活用

質問 中山間地域在住職員の確保

市長の施政方針にあった「中山間地域に暮らしながら支所業務等に従事するIターン、Uターンを狙いとする職員採用制度の新設」の具体的内容は。

答 弁 総務部

この制度は、中山間地域に暮らしながら地域を支える職員が必要との考えから、主に各支所における地域振興業務等を担当する人材を確保するものである。IターンやUターンなど中山間地域での暮らしを志向し定住を希望する人材、さらに地域づくりに意欲を持つ人材をターゲットとした職員採用試験を平成27年度から実施予定である。主に、民間企業等で一定年数の

実務経験がある子育て世代を対象に、来年度は5名程度募集予定である。



豊田市職員採用情報誌

鎌田 ひとみ

公明党



●子ども・若者の課題と教育の取組

質問 発達障がい児支援

発達障がい者支援法により、発達障がい児への生涯を通じた支援の必要性が明確になった。就労においては就職と同様に定着が難しいと聞かすが、就労定着支援の取組はどのようなか。

答 弁 市民福祉部

障がい者就労生活支援センター事業においてジョブコーチを配置し、就労定着支援を行っている。発達障がいのある方はコミュニケーションに困難を伴う方も多く、企業との間にジョブコーチが入り、トラブルや悩みの解決を図ることが重要な役割となっている。また、4月から始まる次期障がい者計画では、重要事業の一つとして「発達障がい者への支援の検討」を掲げており、発達障がい者を「貴重な労働力」と捉え、企業に居場所を作り出すための手法を検討していく。

庄司 章

市民フォーラム



●地震防災・減災対策

質問 自助の取組

本市では、これまで家具転倒防止の啓発活動を行ってきたが、その状況と今後の対応を伺う。

答 弁 社会部

自主防災会の訓練や地区交流館祭など各種イベントにて家具転倒防

止用器具等の防災グッズを展示し、市民啓発を行っている。特に高齢者宅については、民間企業のボランティアと地域の民生委員・児童委員が連携して転倒防止用器具の設置を支援するなど、まさに自助、共助の防災活動を展開しており、平成27年1月8日現在まで計918件実施された。今後も自主防災会の活動時や全庁的なイベント等で多くの市民に啓発していく。



家具転倒防止用器具

中村 孝浩

市民フォーラム



●安全・安心な犯罪のないまちづくり

質問 今後の防犯対策

本市公用車の98%にドライブレコーダーが設置済みであり、防犯にも役立っていると聞かすが、犯罪抑止効果等、更なる防犯対策への有効活用を行うのか。

答 弁 社会部

ドライブレコーダーは、事故検証や安全運転意識の向上が主な目的であり、常時録画や長時間保存できないなどの理由から防犯カメラに適さないと考える。またプライバシーの面で、市民の理解が得られておらず難しい。しかし、本市では公用車におけるドライブレコーダーの設置及び運用に関する基準を定めており、警察等関係機関から照会があった場合等はデータの提供が可能である。実際、捜査機関に提供を行った事例もあり、今後も依頼があれば基準に従い対応する。



公用車に設置のドライブレコーダー



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

# 一般質問

## 羽根田利明

自民クラブ



### ●地域防災力の充実強化

#### 質問 消防団への加入促進

消防団への若者の加入を促進するため、本市の店舗等を消防団員や家族が利用する場合に優遇措置を受けられる「消防団の優遇措置の創設」ができないか。

#### 答弁 消防本部

消防団の魅力を高めるには、消防団員が地域から応援、感謝されていることを感じ、誇りとやりがいを持って活動してもらえることが重要と考える。そこで、地域ぐるみで取り組む支援策として、消防団員に対する優遇措置の創設に向けて、平成27年度から仕組み作りに取り組んでいく。



消防団の出初式の様子

## 山田主成

自民クラブ



### ●住宅・定住施策の検証と今後の展開

#### 質問 中山間地域における空き家を活用した定住対策

足助地区のみで運用されている空き家の紹介制度「スマイルしょうかい制度」が大きな成果を上げており、中山間地域全域に横展開すべきと考えますが市の見解は。

#### 答弁 社会部

「スマイルしょうかい制度」の成約実績は、平成21年度の運用開始から平成26年12月末現在まで45世帯123人である。登録・成約の実績が多く、家屋の登録件数確保に有効であることから、本制度の物件登録方法を空き家情報バンク制度に取り入れ、全地区への横展開を図っていく。

## 加藤和男

自民クラブ



- 公共交通バスによるまちづくり
- 環境によるまちづくり

#### 質問 産業廃棄物としてのPCB処理の今後

豊田PCB処理事業所の早期終了には、対象エリアである東海4県での処理促進が不可欠と考えるが、本市はどのような取組を行っているのか。

#### 答弁 環境部

東海4県と政令7市で構成する東海地区広域協議会に対して、豊田事業所を一日でも早期に終了するという思いを共有し、PCB廃棄物の把握調査や保管事業者に対する早期処理の指導等に足並みを揃えて取り組むよう要請していく。また全国のPCB処理事業所の相互活用に伴い、この地域から大阪事業所、北九州事業所へ運ばれるPCB廃棄物についても同様に対応する必要があるため、他の立地自治体、岡やJESCO等関係機関と連携しながら、PCB廃棄物を一日でも早く処理する取組を進める。

## 山内健二

市民フォーラム



### ●公共交通の活性化を目指して

#### 質問 交通系共通ICカードの導入

リニモやおいでんバス、愛知環状鉄道における「マナカ」導入に向けた協議及び調整の進捗と導入が遅れている理由は。

#### 答弁 都市整備部

愛知高速交通(リニモ)及び、おいでんバスについては平成27年度中にシステム構築・機器導入等を行い、平成28年度からの運用を目指している。愛知環状鉄道については、県や沿線市を交えて導入を検討しているが、資金的に老朽化施設の修繕や耐震化が優先であり当面は導入が困難である。共通ICカードの導入が遅れている理由は、全交通事業者が加盟する協議会等との調整が必要であり、導入方針の決定から運用開始までに最低でも2年以上の期間を要するためである。

## 佐藤恵子

公明党



- これからの観光
- 男女共同参画の推進に向けて

#### 質問 市民・来訪者へのおもてなしの充実

高齢化の進展もあり、車を持っていない・運転しない方へのおもてなしも必要と考えるが、公共交通機関を使っただけの観光についてどのような取組を考えるのか。

#### 答弁 都市整備部

公共交通機関を利用した市内観光推進には、公共交通を知って頂くことが重要と考え、バスマップ、バsgガイドブック、移動支援ポータルサイトみちなびとよた等で情報を提供している。また昨年は、新☆豊田市誕生10周年プロジェクトとして、とよたのバsfestaを開催、各地域の観光と一体的に情報発信を行った。今後は、市外からの来訪者も対象に、徳川家康公没後400年記念事業にあわせたバススタンプラリー等、本市の魅力と公共交通の利用を結び付けた事業を展開する。

## 岡田耕一

諸派



### ●豊田スタジアム修繕計画

#### 質問 スタジアムの開閉式屋根

開閉式屋根可動に係る経費はどの程度か。また撤去について雨天を考慮するとその必要性があるのか。撤去後に固定屋根を設置する方法もあるがどう考えるか。

#### 答弁 教育行政部

屋根の開閉には、電気代や屋根を安全確実に作動させるための人件費約10人分が発生し、開閉1回あたり約100万円の費用がかかる。また撤去せずそのままにする、固定屋根を新たに設置するという提案については、平成27年度に提案内容も踏まえ、どの状態にしておくことが最も望ましいのかも合わせて検証する。



議員氏名  
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)  
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部署名  
質問に対する市の担当部署の回答

杉浦 昇

自民クラブ



●第8次総合計画策定の不退転な土地利用計画

質問 大転換の時代における  
土地利用計画

人口減少・高齢化が進むと自家用車での移動が困難になると予想されるが、公共交通機関を広く手当てするには財政負担が伴う。市の今後の居住誘導の考え方は。

答弁 市長

本市では、住み慣れた地域での暮らしと効率性の高いコンパクトシティ、両方を大切に考え、多角ネットワーク型都市構造のまちづくりを進めてきた。市民の皆さんがどの地域でも我が故郷として愛着を持ち暮らし続けることができるよう、「WE LOVE とよた」の視点から定住基盤を整備すると共に中山間地域でも定住施策を推進している。今後は引き続き超高齢化社会を見据え、利便性の高い鉄道駅周辺への居住誘導を進めながら、住み続けられる住み続けたいまちづくりを展開していく。



浄水駅前

梅村 憲夫

自民クラブ



●重症心身障がい者の方々への短期的な取組  
○重症心身障がい者の方々の中・長期的展望での取組

質問 医療行為が必要な重症心身障がい者のショートステイ

医療型短期入所の実施については、当事者や事業所など各所管の意見を反映してほしいが、制度設計における考え方はどのようか。

答弁 市民福祉部

医療型短期入所の実施に向けては、主体となる医療機関を始め、障がい者が普段利用している福祉施設や

保護者等との連携を図り、利用ニーズや実態を踏まえた調整が必要となる。制度設計にあたっては、障がい福祉の推進に向け、関係する機関等の連携を図るために設置されている地域自立支援協議会など関係者の意見を聞きながら検討を進めていきたい。本事業は、次期豊田市障がい者計画の重点事業として掲げており、平成28年度中の開始を目指し進めていく。

稲垣 幸保

自民クラブ



●合併後の農山村地域の振興

質問 今後の農山村地域の振興策

合併後10年のまちづくりを振り返る中で、農山村地域に対する感想や今後の中山間地域に対する期待等、市長の想いは。

答弁 市長

合併後の本市は、都市と農山村が地域資源を相互活用できる意味でまちづくりの可能性が向上した。また、田舎暮らし希望者は増えているものの雇用と医療が課題とされる中で、本市の中山間地域は近接都市に雇用がある他、医療体制や教育環境も整っており、全国でも優位にある。実際全国的なモデルとなり得る先駆的な取組も進んでいる。地域に住む皆さんが、我が故郷に愛着と誇りを持って住み続けてこそ持続するまちにつながると考え、今後も各地域で「WE LOVE とよた」の取組を広げていく。

松井 正衛

自民クラブ



●持続可能な都市に向けた豊田市の戦略

質問 豊田市版の地方創生

本市の移住希望者への支援に対する考えを伺う。また2月26日より施行される空き家等対策の推進に関する特別措置法を受けた、今後の取組を尋ねる。

答弁 企画政策部

都市部では、労働者の確保に向け全国的な求人活動を行っている。人口政策としては転出抑制が課題である。農山村部では、移住希望者数に対する空き家等の住居や宅地の供給不足が大きな課題となっている。これを踏まえ、第8次総合計画を策定する中で、議員にご提言頂いた岡山市の移住支援例も参考に適した取組を整理する。特別措置法は、施行後明らかになる国の指針や5月に示されるガイドラインを注視しながら取り組んでいく。



根本 美春

諸派



○全学年に少人数学級拡大の判断を  
○子どもの貧困をなくす制度の充実を  
●高い国民健康保険税の値下げで払える金額に

質問 国民健康保険税の1世帯1万円値下げを

国民健康保険税の値上げを抑えるための法定外繰入額は本市、他市でいくらか。また基金の一部取り崩しで、1世帯1万円の値下げが実現できないか。

答弁 市民福祉部

被保険者一人あたりの法定外繰入額は平成26年度当初予算ベースで6,629円、この他国民健康保険事業財政調整基金から7億円の繰入があり、計13,958円となる。岡崎市は19,619円、刈谷市が16,404円、安城市が13,085円である。基金の総額は、平成26年度末で約30億円となる見込みだが、税率上昇抑制のため毎年度基金を取り崩しており、平成28年度末には残高が約16億円となる。本来基金は、医療給付費の突発的上昇に対応するため適正保有額の約14億円を確保する必要があり、これ以上の取り崩しは困難である。



マメ知識

# 一般質問とは

議員が市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め又は質問すること。定例会でのみ行われます。一般質問の順番は、くじ引きによって決まります。

## 大村 義則

諸 派



●「介護難民」を拡大させないために

**質 問** 「軽度者」を切り捨てる介護改善

医療・介護の新しい総合法では要支援1・2の方が介護保険の利用対象から外れ、市が支援を行うが、介護サービスの質の維持を含め、どう対応していくのか。

**答 弁** 市民福祉部

新しい総合事業の構築は、第6期計画の重点取組事業と位置づけ取り組んでいく。移行については2年間の延期を上限に準備を進める。また本事業は、利用者の食事介助等の専門性の低いサービスと掃除等の比較的専門性の低いサービスに分けられるが、それぞれについて現在のサービス水準が確保できるよう取り組んでいく。

## 作元 志津夫

市民フォーラム



●国の地方創生と豊田市の取組

**質 問** 中山間地域の将来都市像

中山間地域に存在する豊かな自然と暮らし、文化など日本の原風景を維持することこそが地方創生の狙いと考えるが、中山間地域の将来像について市長の考えは。

**答 弁** 市長

中山間地域の過疎化を少しでも抑えていくことは、課題とじっくり向き合い地域づくりを進めていく点で重要と考える。たとえ人口が減少しても住み続けられる環境にしておくことが中山間地域の将来の姿と考えており、必要な施策を展開していく。ただし、その地域に住む皆さんにも「WE LOVE地域」の気持ちで主体的に取り組んでもらうことが必要。今、都市部に住む若い世代の農山村への移住ニーズが高いが、若者が住みたいと感じるような元気で明るい情報を発信していただきたい。



市内の原風景

## 板垣 清志

自民クラブ



●鳥獣害対策の実態  
○市街化調整区域内の宅地開発

**質 問** 鳥獣害対策の推進体制

鳥獣害対策の支援制度について、農家の方々にどのような方法で周知しているのか。

**答 弁** 産業部

本市では、毎年5月頃と1月頃に開催する農事組合長会議で支援制度を説明しているが、必要に応じて地区区長会や集落営農等の会合でも、集落で農地を守る方法や、それに対する各種支援策について説明している。また市のホームページ、農山村地域の農家向けに年3回発行している豊田いのしし通信の他、JA営農センターや市役所支所の窓口、農機具や防除資材の販売所等でもチラシを設置し周知している。

## 安藤 康弘

市民フォーラム



●豊田市のスポーツ振興

**質 問** 公共スポーツ施設整備に向けた展望

公認プールの整備は、生涯スポーツ社会の実現を目指す本市に必要性の高いものであり整備を強く要望するが、市の考えは。

**答 弁** 教育行政部

公認プールは県内に21施設あり、そのうち自治体が管理しているものは12施設だが、本市が管理しているものはない。現在、市民水泳大会が年2回

中京大学の公認プールをお借りして開催されている状況は把握している。公認プールの整備については、公共建築物の整備及び維持管理に関する方針を踏まえて引き続き検討していく。



市内の公共プール

## 山口 光岳

自民クラブ



○地域振興と林産業  
●適切な教育活動の推進

**質 問** 小規模校における教育

平成17年度以降の6クラス未満の小規模校の増減の推移と出生数から予測できる今後の動向についてお聞きする。

**答 弁** 学校教育部

平成17年度の6クラス未満の小規模校は11校であった。平成26年度は、合併以前から検討されていた下山地区の阿蔵小学校・三巴小学校・川平沢小学校の他、石野地区の藤沢小学校、旭地区の築羽小学校の統廃合もあり10校になっている。将来推計によると、平成32年には20校となり倍増していく状況である。内訳は、高橋・猿投・石野・松平・藤岡・下山地区で各1校、旭地区2校、小原地区3校、足助地区9校である。

WE LOVE とよた



市議会がこれまでに提言したものを今年太田市長が“地産池消はミライへの投資”のキャッチフレーズとして使用。商工会議所も平成21年から元気プロジェクトとして取り組む。合い言葉はWE LOVE とよた!



# 矢野きよ実さん基調講演、中学生による被災地支援活動の発表に感動!!

## ～市民シンポジウムの報告～

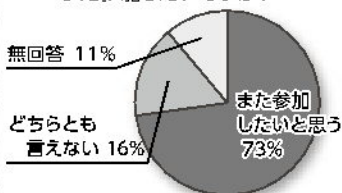


平成27年1月18日(日)に猿投棒の手ふれあい広場の多目的ホールで矢野きよ実さんを講師に迎え、市民シンポジウムを開催しました。

被災地支援の取組を井郷中、小原中、藤岡中、藤岡南中、竜神中学校の生徒の皆さんに発表いただきました。

当日は237名の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。参加者の皆さんから寄せいただいた感想とアンケート結果の一部を報告します。

### ○アンケート結果 また参加したいですか?



### ○シンポジウムの感想

- ・大変感動した話を聞いてよかったです。心を打つ話ばかりで、ジーンとしました。普段の生活のあたりまえのことに感謝したいと改めて思いました。(40代女性/自営業)
- ・5校の中学生のプレゼンテーションがすばらしかったです。参考になりました。(60代男性/無職)

### 豊田市議会ホームページに新顔

他市からの行政視察受入専用ページを作成しました。多くの皆さんに本市の取組をご視察いただきたいと思います。



▲行政視察受入れのご案内ページ

### 議会の資料はここで ご覧いただけます

市役所南庁舎1階、市民課等のあるフロアの一角に「市政情報コーナー」があります。ここには市政の情報ははじめ議会の情報も沢山あります。議会だよりでお知らせできない詳細はこちらでご覧いただけます。



### 喜ばれています。 声の広報

ボランティアで広報とよたと市議会だよりの音訳をしてくださるのは「銀河の会」の皆さんです。現在、12名の方で手分けして音訳していただきます。お問い合わせは、市政発信課まで。電話 (0565) 34-6604



### 小学生の議会傍聴と 見学

2月25日の本会議における一般質問を荻野小学校の児童6名が傍聴に訪れました。傍聴前に、議場見学を行い議員の質問席にも立つ体験をしました。議場は、事前に申し込みいただければ見学できます。ぜひ議場空間を体感しにお越しください。



## ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしています。

【宛先・お問い合わせ】

### 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な原液を一切使わず、少ない水で印刷方式を採用しています。

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 <http://toyota-shigikai.jp>

「議会だより」のバックナンバーや詳しい会議録もご覧いただけます。

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・フット)生中継  
チャンネル/78.6MHz

### 5月市議会臨時会の予定

5月市議会臨時会は  
5月15日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「3月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。  
本紙から抜き取ってご覧ください。